

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成28年1月21日(2016.1.21)

【公表番号】特表2015-504105(P2015-504105A)

【公表日】平成27年2月5日(2015.2.5)

【年通号数】公開・登録公報2015-008

【出願番号】特願2014-548185(P2014-548185)

【国際特許分類】

C 08 G 63/685 (2006.01)

C 07 D 209/48 (2006.01)

【F I】

C 08 G 63/685

Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月20日(2015.11.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

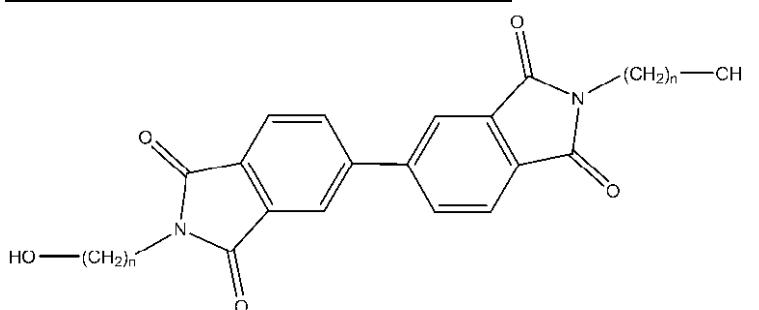
【補正の内容】

【0060】

テンター法により得られた二軸延伸フィルムは、安定であり、優れた結晶性を示した。

本発明のまた別の態様は、以下のとおりであってもよい。

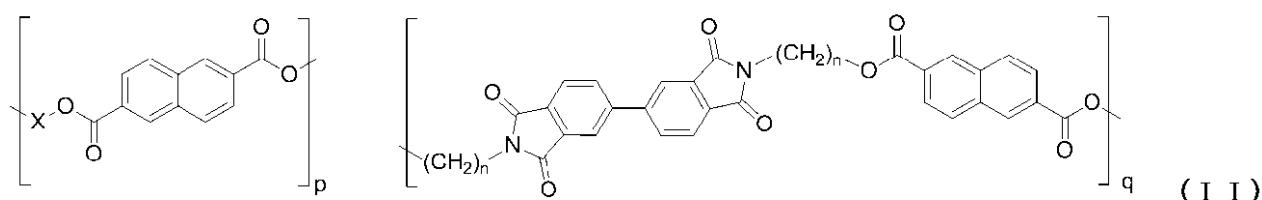
[1] 脂肪族グリコール、ナフタレンジカルボン酸、および式(I)のモノマー由来の繰り返し単位を含むコポリエステル。



(式中、n = 2、3又は4であり、

コモノマー(I)は、コポリエステルにおけるグリコール部分の一部を構成する)

[2] 式(II)を有する、前記[1]に記載されたコポリエステル。



(式中、n = 2、3又は4であり、

基Xは、前記脂肪族グリコールの炭素鎖であり、

p及びqは、それぞれ、脂肪族グリコール含有繰り返しエステル単位及びモノマー(I)含有繰り返しエステル単位のモル分率である)

[3] モノマー(Ⅰ)が、コポリエステルにおけるグリコール部分の約5～約50モル%の範囲で存在する、前記[1]又は[2]に記載されたコポリエステル。

[4] モノマー(Ⅰ)が、コポリエステルにおけるグリコール部分の少なくとも約8モル%の範囲で存在する、前記[1]乃至[3]のいずれかに記載されたコポリエステル。

[5] ナフタレンジカルボン酸が、2,6-ナフタレンジカルボン酸である、前記[1]乃至[4]のいずれかに記載されたコポリエステル。

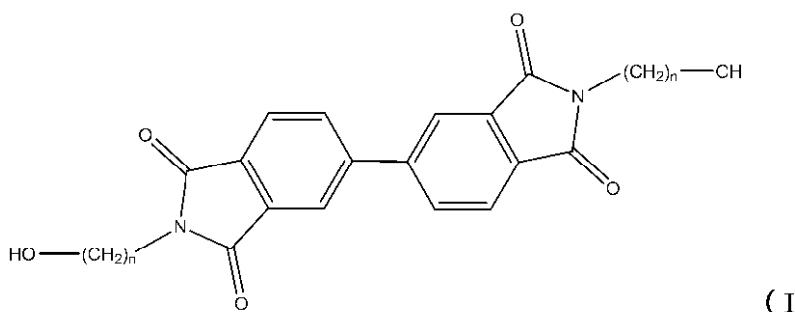
[6] 脂肪族グリコールが、C₂、C₃又はC₄脂肪族ジオールから選択される、前記[1]乃至[5]のいずれかに記載されたコポリエステル。

[7] 脂肪族グリコールが、エチレングリコールである、前記[1]乃至[6]のいずれかに記載されたコポリエステル。

[8] 脂肪族グリコールにおける炭素原子数が、コモノマー(Ⅰ)における数nと同じである、前記[1]乃至[7]のいずれかに記載されたコポリエステル。

[9] n=2である、前記[1]乃至[8]のいずれかに記載されたコポリエステル。

[10] 式(Ⅰ)の化合物。



(式中、n=2である)

[11] 前記[1]乃至[9]のいずれかに記載されたコポリエステルを含む、ポリエス

テルフィルム、特に延伸フィルム、特に、二軸延伸フィルム。

[12] 前記[1]乃至[9]のいずれかに記載されたコポリエステルを含む、繊維若し
くは成形組成物、又は成形品。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

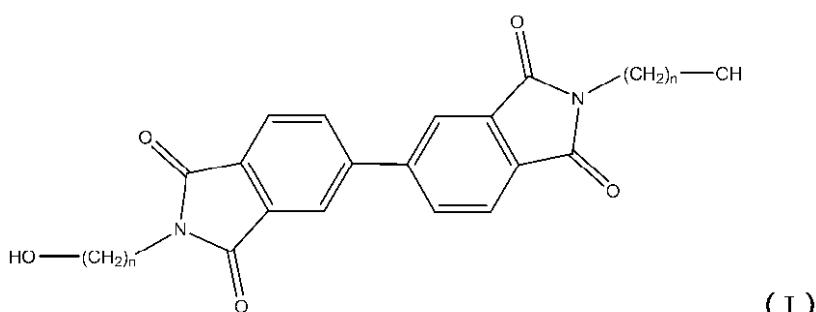
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

脂肪族グリコール、ナフタレンジカルボン酸、および式(Ⅰ)のモノマー由来の繰り返し単位を含むコポリエステル。

【化1】



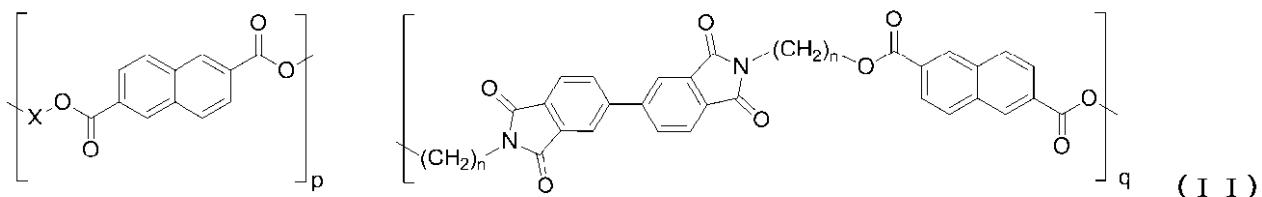
(式中、n=2、3又は4であり、

コモノマー(Ⅰ)は、コポリエステルにおけるグリコール部分の一部を構成する)

【請求項2】

式(II)を有する、請求項1に記載されたコポリエステル。

【化2】



(式中、 $n = 2, 3$ 又は 4 であり、

基Xは、前記脂肪族グリコールの炭素鎖であり、

p及びqは、それぞれ、脂肪族グリコール含有繰り返しエステル単位及びモノマー(I)含有繰り返しエステル単位のモル分率である)

【請求項3】

モノマー(I)が、コポリエステルにおけるグリコール部分の約5～約50モル%の範囲で存在する、請求項1又は2に記載されたコポリエステル。

【請求項4】

モノマー(I)が、コポリエステルにおけるグリコール部分の少なくとも約8モル%の範囲で存在する、請求項1乃至3のいずれかに記載されたコポリエステル。

【請求項5】

ナフタレンジカルボン酸が、2,6-ナフタレンジカルボン酸である、請求項1乃至4のいずれかに記載されたコポリエステル。

【請求項6】

脂肪族グリコールが、 C_2 、 C_3 又は C_4 脂肪族ジオールから選択される、請求項1乃至5のいずれかに記載されたコポリエステル。

【請求項7】

脂肪族グリコールが、エチレングリコールである、請求項1乃至6のいずれかに記載されたコポリエステル。

【請求項8】

脂肪族グリコールにおける炭素原子数が、コモノマー(I)における数nと同じである、請求項1乃至7のいずれかに記載されたコポリエステル。

【請求項9】

$n = 2$ である、請求項1乃至8のいずれかに記載されたコポリエステル。

【請求項10】

請求項1乃至9のいずれかに記載されたコポリエステルを含む、ポリエステルフィルム。

【請求項11】

延伸フィルムである、請求項10に記載されたポリエステルフィルム。

【請求項12】

二軸延伸フィルムである、請求項10に記載されたポリエステルフィルム。

【請求項13】

請求項1乃至9のいずれかに記載されたコポリエステルを含む、纖維、成形組成物又は成形品。